

本学の歴史を語る、功労のあった教授・先輩の名前を冠した6つの通り

九州大学 歴史探訪

① 大森通り



本邦内臓外科の開祖
大森 治豊

九州大学医学部外科学第2講座初代教授。明治19年に開腹例100例を「心腹切解一百例」として発表。本邦内臓外科開祖。明治21年県立福岡病院初代病院長就任以来、九州大学医学部の基礎を築いた功績により、医学部同窓庭園銅像として荣誉を讃えられる。

② 宮入通り



寄生虫学発展の功労者
宮入 慶之助

日本住血吸虫の中間宿主を探索、1913年ついに佐賀県鳥栖市で後にミヤイリガイの和名で呼ばれる小巻貝を見だし、目指す生物であることを実験で証明した。ノーベル賞候補にもなり、ミヤイリガイ発見記念に鳥栖市近郊に学塾碑が建てられている。

③ 久保通り



日本耳鼻咽喉科学の開拓者
久保 猪之吉

日本初の食道直達鏡を実行。無響室建設や音声言語障害治療科創設、術後性顔部腫瘍発見と命名、耳鼻咽喉科学において画期的な研究と診療の体制を確立。「久保記念館」には、世界的に貴重な標本、耳鼻咽喉科関連の資料を収蔵している。



釜掛の松

天正15年(1587年)、九州平定を終え管崎宮に滞陣した豊臣秀吉は、小寺休夢(こでらきゅうむ)(福岡藩の藩祖黒田黒田如水(くろだじょうすい)の叔父)らと和歌を詠じ、茶人の千利休や博多の豪商神谷宗湛らと茶会を催しました。その際、利休は秀吉の命によりこの地の松に鎖を吊るして雲龍の小釜をかけ、白砂の上に散り敷いた松葉を集めて湯をわかしたと伝えられています。

④ 稲田通り



ウイルス病病原体の発見者
稲田 龍吉

大正3(1914)年ウイルス病病原体を発見。大正4(1915)年9月「日本黄痘出血性スピロヘータ病論」を発表。昭和19(1944)年文化勲章受章。大正3(1914)年に分離したIctero No.1株は、76年を経て、病原性レプトスピラ基準株として承認。北里柴三郎博士と共に日本初のノーベル賞候補。

⑤ 田原通り



哺乳動物心臓の電氣的刺激伝導路発見者
田原 淳

哺乳動物心臓の電氣的刺激伝導路の発見者として世界的に有名。偉業を讃え途中の房室結節を「田原結節」とも呼称。心臓生理学や病理学、臨床研究発展の基礎となった画期的な成果で、「20世紀の偉業」の一つ。大正3年(1914)に学士院恩賜賞を受賞。

⑥ 橋本通り



橋本 策(ハカル)

リンパ球浸潤に富む特異な甲状腺腫に着目。大正元年(1912年)、ドイツの外科学雑誌に報告。後年その独立性が認められ、自己免疫病という概念の登場とともに、代表的疾患となった「橋本病」にその名を残している。



⑬ 医学部正門

明治36年(1903年)に京都帝国大学福岡医科大学として発足した九州帝国大学医学部は、昭和3年(1928年)創立25周年を迎え、記念事業の1つとして医学部正門が建てられました。この正門は、病院地区キャンパスの整備、改修の遷移と共に姿を変え、医学部を象徴する門として、現在の場所に設置されています。



大正12年医学部正門



昭和戦前期 医学部正門



現在の医学部正門

- ⑧ 長塚節(ながつかたかし)逝去の地
- ⑨ 九州大学生協 学生食堂
- ⑩ 郭沫若(かくまつじゃく)先生顕彰碑
- ⑪ ヒポクラテスの木
- ⑫ 医学図書館
- ⑬ 九州大学医学部創立七十五周年記念庭園
- ⑭ 神の手
- ⑮ 慰霊塔「崇高な精神」
- ⑯ 医学部百年講堂
- ⑰ ナイチンゲールの誓詞の碑
- ⑱ 大森治豊先生像
- ⑳ 久保猪之吉先生像
- ㉑ 医学博士 武谷廣先生
- ㉒ 医学博士 稲田龍吉先生像
- ㉓ 田とめ女史之像